

梅沢 定彦



市内小学校での贈呈式

所 在：所沢市

学校法人所沢文化幼稚園の理事長として、所沢市内に6幼稚園、2保育園を経営しています。付帯施設として自然観察園があります。幼児期に必要な感性を養う場が必要との考えから、昭和60年に自然観察園を設計・開設、その豊かな自然の場を利用しホタルの養殖をはじめ、オオムラサキや動植物の飼育繁殖などを行い、自然環境の復活・保護に取り組んでいます。

また、長年の幼児教育への貢献から教育功労賞・瑞寶雙光章を受章しています。

日本希少淡水魚の保護と繁殖

～ミヤコタナゴの復活を願って～



受賞の取組

- ・市の指導で設置された「ミヤコタナゴ保護対策委員会」の委員長に就任
- ・環境省のレッドリストにも絶滅危惧種として指定されているミヤコタナゴの飼育・繁殖に成功
- ・市内全小学校にミヤコタナゴを贈呈するほか、環境や飼育の講演の実施

取組をはじめたきっかけ

所沢市では絶滅したと思われていたミヤコタナゴが1978年、所沢市内の上山口の柳瀬川で偶然発見されました。それから市内の保存する会でも繁殖を試みておりましたが、思うように繁殖が進まず、市の指導で「ミヤコタナゴ保護対策委員会」が発足し、その対策委員長として推薦されました。文化庁・環境庁（現環境省）の、自然観察園内の川が将来的なミヤコタナゴの自然繁殖に適しているとの判断により、1996年から飼育・繁殖に取り掛かりました。

これからの展望

ミヤコタナゴの市内河川への放流にはまだいくつかの問題が残っています。

ミヤコタナゴの産卵に必要とされるマツカサガイ等の二枚貝の生息できる河川の増加はもちろんのこと、解決すべき問題は多々あります。未来を担う子ども達や保護者・地域の方にも広く公開し、自然環境の大切さなどの理解を呼びかけるとともに所沢地域に新たな生息地域を復活できるようにしていきたいと思えます。



採卵をする梅沢先生



元気に泳ぐミヤコタナゴ

受賞して



この度、このような賞を受賞できた事は関係各位の皆様をはじめ、多くの皆様の御理解・御協力の賜物と深く感謝しております。長年幼児教育に携わる中で、本物の自然体験をさせてあげたいとの願いから開設した自然観察園での川作りやホタルやオオムラサキなどの飼育等の経験を買われての対策委員長就任でしたが、この受賞を励みに、また、子ども達の為にも自然環境の保護・復活に一生懸命に取り組んでまいりたいと思えます。